



『日本人としての自覚と誇り』

日本の伝統芸能「三味線」

就業技術科1年の音楽では、オリンピック・パラリンピック教育として、日本の伝統芸能「三味線」の講師を招いて授業を行いました。

「六段調」と「さくら」変奏曲を鑑賞し、「おおきな古時計」と「涙そうそう」を三味線と箏に合わせて歌いました。そして、「さくら」にチャレンジしました。三味線は、右手と左手が違う動きをするので、生徒達は苦労していましたが、音色を楽しんでいました。

授業風景



生徒の感想

演奏してくださった曲は、「懐かしい」という思いをさせてくれてよかったです。三味線の体験でも、分かりやすく演奏方法などを教えてくださったので、理解しやすくてよかったです。

なかなか難しかったです。こうした日本の伝統楽器に触れることはないので、とても良い経験だったと思います。演奏も、見ごたえがあってすごかったです。

三味線は見たことはありましたが、今までやったことはありませんでした。「さくら」は、難しかったけれど、楽しく弾くことができました。